

「マリー・ローランサンとその時代 ～巴里に魅せられた画家たち」展

Marie

Laurencin and her Era - Artists attracted to Paris

＝開催要項＝

■展覧会趣旨

全国美術館会議・小規模館研究部会(SSG)の共同企画である本展覧会では、ローランサンが現在広く親しまれている夢想的な作風に転じた、第一次世界大戦後の1910年代から30年代、およびその時代を導いた20世紀初頭のパリの動向を中心にスポットをあて、パリによって生まれた画家ローランサンらと、パリによって成長した日本人画家たちが交錯した時代と場所の空気を、加盟館ならびに協力館の所蔵作品を展覧することで紹介します。参加各館のそれぞれの個性的なコレクションは、連携によっていっそう豊かな広がりを見せることでしょう。

パリとの関わりにおいて日本人作家がいかにより多種多様で豊かな作品を生み出したかを見ることで、パリが持っていた多様性への寛容こそが、文化的充実の土台であったことを知るとき、現代日本における多様性の良質な表出である我々個性豊かな小規模館の存在意義も、改めて明らかになることでしょう。

■会期と会場

本展は、2011年7月29日から2012年9月30日まで、全国の5館を巡回します。会場館が主催となります。いずれも全国美術館会議小規模館研究部会に属する美術館で、それぞれユニークな活動を展開しています。

- 2011年 7月29日(金)～9月30日(金) マリー・ローランサン美術館 (長野県茅野市)
10月22日(土)～12月25日(日) 高梁市成羽美術館 (岡山県高梁市)
- 2012年 1月28日(土)～3月11日(日) 一宮市三岸節子記念美術館 (愛知県一宮市)
4月14日(土)～7月8日(日) 神戸市立小磯記念美術館 (兵庫県神戸市)
7月14日(土)～9月30日(日) ニューオータニ美術館 (東京都千代田区)

■内容

○第一章「パリの画家マリー・ローランサンの展開」

多くの芸術運動が興った19世紀末から20世紀前半のパリには、「地元」からも、華やかな色彩に愁いを秘めた女性像で知られるマリー・ローランサンが生まれました。彼女は、自身が強く関わった立体派だけでなく、ダダやシュルレアリスムなど、幅広い交友を通して作品世界を展開させていきます。

●マリー・ローランサン美術館の所蔵作品から、油彩画29点や版画等で構成し、本展の核となります。

○第二章「パリの華やぎ」

もちろん当時のパリは、フランス国内のみならず世界中の才能ある人々を引きつけ、集まった彼らはエコール・ド・パリ(パリ派)と呼ばれながらも、「派」の語の束縛感からは全く自由にそれぞれが独自の展開を見せています。また、ローランサンと同じくパリ出身のジョルジュ・ルオー、モーリス・ユトリロらも、画家としての出自や作風は大いに異なりますが、パリという街と分かち難くあるという点で共通していました。

●同時代の画家の作品を、ニューオータニ美術館等の所蔵作品で構成します。

○第三章「日本人画家の活躍」

パリは、同時に日本の芸術家にとっても「憧れのパリ」であり、児島虎次郎や小磯良平、荻須高德らのように才能と機会を得て彼の地で研鑽を積む者たちや、もたらされる情報を貪欲に吸収し、血肉としていった三岸節子のような女性たちが登場しました。距離や人種、あるいは歴史的・文化的背景の違いを踏み越えて、パリの精神を取り込んでいった画家たちの姿勢は、現代の私たちも鼓舞してくれます。

●会場館である高梁市成羽美術館から児島虎次郎、神戸市立小磯記念美術館から小磯良平、一宮市三岸節子記念美術館から三岸節子らが出品されます。また各館のコレクションからは、同時期に渡欧した仲間の作家たちの貴重な作品も出品されます。

●本展にご協力下さる、稲沢市立荻須記念美術館から荻須高德、田辺市立美術館から佐伯祐三、目黒区美術館から岡鹿之助、里見勝蔵らが出品されます。

●兵庫県立芸術文化センター薄井憲二バレエコレクション所蔵のバレエ・リュスの資料で、出品作家が関わった作品、あるいは彼らが当時見ていた作品を紹介します。

■出品作家、館と出品協力館

- ・マリー・ローランサン(マリー・ローランサン美術館)
- ・モイーズ・キスリング、藤田嗣治、モーリス・ド・ブラマンク、キース・ヴァン・ドンゲン、シュザンヌ・ヴァラドンなど(ニューオータニ美術館)
- ・小磯良平、古屋新(神戸市立小磯記念美術館)
- ・児島虎次郎、徳永仁臣(高梁市成羽美術館)
- ・三岸節子(一宮市三岸節子記念美術館)
- ・他に荻須高德(稲沢市荻須記念美術館)、ジョルジュ・ルオー(パナソニック電気汐留ミュージアム)、佐分真(一宮市博物館)、佐伯祐三(田辺市立美術館)、岡鹿之助、里見勝蔵(目黒区美術館)、バレエ・リュス資料(兵庫県芸術文化センター薄井憲二バレエ・コレクション)など(予定)。

*ただし、会場により出品されない作品があります。

■催し

- ・各開催館ごとに講演会やギャラリートーク等、展覧会に親しむためのさまざまな催しを計画しています。詳細はお問い合わせ下さい。

■図録

- ・本展覧会用に、全出品作品を収録する図録を作成します。

■主催(開催順)

マリー・ローランサン美術館

担当: 富安玲子

391-0395 長野県茅野市北山 4035(蓼科湖畔)

tel.0266-67-2626 (アートランドホテル蓼科) fax.0266-67-2632

高梁市成羽美術館

担当: 渡辺浩美

716-0111 岡山県高梁市成羽町下原 1068-3

tel.0866-42-4455 fax.0866-42-4451

一宮市三岸節子記念美術館

担当: 堤祐子

494-0007 愛知県一宮市小信中島字郷南 3147-1

tel.0586-63-2892 fax.0586-63-2893

神戸市立小磯記念美術館

担当: 廣田生馬

658-0032 兵庫県神戸市東灘区向洋町中 5-7

tel.078-857-5880 fax.078-857-3737

ニューオータニ美術館

担当: 太田美喜子

102-8578 東京都千代田区紀尾井町 4-1 ニューオータニガーデンコート 6F

tel.03-3221-4111 fax.03-3221-2988

■後援

- ・全国美術館会議、フランス大使館、新聞社等マスコミ、その他(予定)

■お問い合わせ先:

「マリー・ローランサンとその時代 ～巴里に魅せられた画家たち」展 事務局

マリー・ローランサン美術館 東京連絡事務所

学芸員 富安玲子

162-0052 新宿区戸山 3-15-1 日駐ビル 4 階

tel. 03-3202-3274(月～金 9:00-17:00) fax.03-3203-1621

e-mail: museum.tomiyasu@nifty.com

神戸市立小磯記念美術館

学芸員 廣田生馬

658-0032 兵庫県神戸市東灘区向洋町中 5-7

tel.078-857-5880 fax.078-857-3737

e-mail: ikuma_hirota@office.city.kobe.lg.jp